

平成30年7月20日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
 会長 小川郁男 様

施設名 介護老人保健施設 小江戸の郷
 氏名 吉野 まどか

研修会報告書

研修会名	第1回相談業務関係職員研修会					
日時	平成30年6月27日(水)10:00～16:00					
会場	埼玉県県民活動総合センター 第1会議室					
講師	あすかHOUSE松伏 支援相談員 永井千恵氏 ハーティハイム 支援相談員 藤本武史氏 あげお愛友の里 支援相談員 宮河恭介氏					
参加人数	68名(内研修委員5名)					
研修委員 (氏名・施設名)	あすかHOUSE松伏 永井 千恵 ハーティハイム 藤本 武史 あげお愛友の里 宮河 恭介 はなぶさ 篠塚 伸子 高齢者ケアセンターゆらぎ 中台 衣久美 小江戸の郷 吉野 まどか					
研修会のテーマ	介護・医療の同時改定を受けて ～ソーシャルワーカーだからこそ大事にしたいこと～					
研修会の評価	アンケート回収枚数	59 枚	3. グループワーク	4.2 / 5		
	1. 研修内容と目的の一致	4.1 / 5		4. 研修会の進め方	4.3 / 5	
	2. 講義に対する評価	① 4 / 5	～総合評価点～		25 / 30	
		② 4 / 5				
	③ 4 / 5					
		④ / 5				
総 評	今回の研修会では普段より多くの参加申し込みをいただきました。報酬改定や情報交換に関し、相談員の関心の高さがうかがえます。また、経験年数の短い方のみでなく、10年以上の経験がある方にも多くご参加いただいていることから報酬改定関連のみでなく、サブタイトルとしたソーシャルワークの価値や老健における支援相談員の存在意義について振り返りの機会としたい研修実施意図が伝わったものではないかと考えます。 午前には講義のほか情報交換会を設け、他施設との情報交換を通し報酬改定後の相談員ならではの悩みや迷いなどを話し合える場となりました。参加者には入所を担当する相談員が多かったせいか、通所についての情報交換があまりできなかったとの意見もあり、次回以降の研修会に反映できればと思います。 午後の事例検討では事例を通してソーシャルワークの価値や相談職の在り方について考えました。指標や加算算定だけにとらわれることなく、困難な中でいかにソーシャルワークの価値を見出すか、考え直す機会となりました。 今回は一つの講義、事例検討に比較的時間をとることができたせいか、「時間配分がよかった」との意見が多くありました。反省点としては、申込み段階でいただいていた質問や意見にお応えできなかったこと、グループワークを近隣施設で分けたが他地域とも意見交換したかったとの意見を多くいただいたこと、などです。様々な課題はありますが、今回頂いた意見を今後の研修会活動に活かしていきたいと考えています。 本研修会の実施に当たり、理事及び事務局の皆様、ご参加いただいた各施設の皆様にご協力いただきましたことを改めて感謝申し上げます。今後さらに良い研修会を作っていけるよう一層努力してまいります。					